

統一的市況的活動をなすべきである。

1. 重要産業と重要地域の計画的供給運動

工場の場合状態を調査し各重要地域及重要工場に供給の中心をたす

2. 日常生活に關係深き糧食等は人民の利益を代表し行動する事

3. 争議の場合未解決労働者の利益を保護し救済する事

4. 争議の應接労働条件の統一ならんば工場代表者會議を開催しを基礎

として工場委員会とする事

5. 工場委員会組織の具体的職務を樹立して工場委員会と單に日本労働

労働者との共同戦線としていざなう。その政治的要素の重要性を以て

はこゝを政治的に理解せしめる事

6. 半導団体と労働組合の統一

7. 南西の問題並に組合の政策を討議する大衆的委員会等に行ひ本位

職労働者と参加せしめ、その階級意識を喚起せしめる事

三 争議の方策

争議を單に一人一社村従業員の間で閉鎖し一工場を資本家と労働者

のみ労働条件を獲得せしむる觀望を退くべきならず、之を全階級の工場から政

治的上場から正しく觀望し統一方針を樹立しなすべしなりぬ。

次に次の各項を充分調査し之を基礎としてその方針をよじめる事

1. 資本家の情勢——労働者の経済方針と營業状態

2. 生産能力と生産必要手段の生産神速の難易

3. 同資本家の工場調査の其工場的主要な職場

4. 労働条件——労働賃銀、労働時間、解雇、退職金、その他工場設

備の如何に制度

5. 労働者の情勢——労働者の不平の中心と生活状態、過去の訓練と職團

意志の如何に職場に於ける結束の程度

6. 争議を如何に産業的に一般化するかのための内容的な方針の正確を

四 教育方針の確立

1. 大衆教育の体系は大衆の自然發達の無意識的不平を意識的階級的不平

に統一